

中国の脅威を無視するマスコミ・野党



令和3年
2月5日(金)

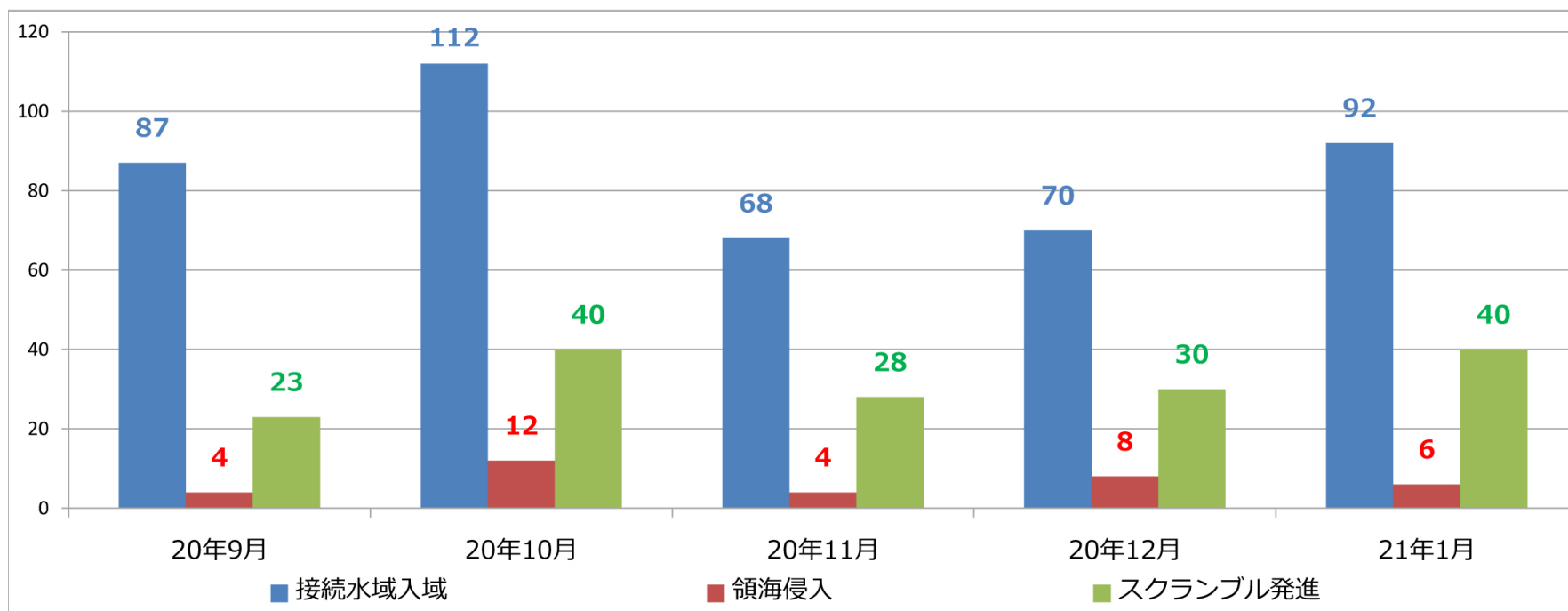
発行者
D A P P I



第164号



中国による尖閣周辺渡航・中国が原因のスクランブル発進回数（菅政権発足後）



	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月
日数	22	28	22	22	25
接続水域入域	87	112	68	70	92
領海侵入	4	12	4	8	6
スクランブル発進	23	40	28	30	40

※2021年9月～21年1月迄に公表されたデータを基に作成

今年になって海上保安庁は25日も中国公船の尖閣周辺渡航＆3日も領海侵入を確認し、
そして航空自衛隊は中国軍が原因で40回もスクランブル発進。
2月から中国海警局の船は武器使用可能となり日本も防衛体制を急ぐべきなのに
この件を問題視すらしていないマスコミ・野党…

報道回想録

注目のインターネット情報

虎ノ門ニュース(2021年2月4日 DHCテレビ) 尖閣をブラックボックスにするな



2月4日に放送された虎ノ門ニュースでジャーナリストの有本香氏が自民党の長尾敬議員の尖閣出漁申請を水産庁が拒否したことについて、水産庁の対応を問題視した。

有本氏が水産庁に取材したところ『水産庁は他の場所では制限していないが尖閣は石垣漁協所属していないと純粋な漁業と認めないと言い、船員手帳を持っている国会議員でも許可しない』との回答があったと紹介。

また有本氏が『つまり水産庁が政治的判断をしているのですね？』と指摘したところ水産庁職員は口を濁したことを受けて『日本の領海に行けないほうが変。政治家は声をあげるべき。また水産庁は報道機関が尖閣周辺を空撮する許可すら出さない。尖閣をブラックボックスにすべきじゃない』と訴えた。

このような水産庁の対応についてジャーナリストの須田慎一郎氏は「水産庁は無法者国家の中国とトラブルを起こしたくないから長尾議員の尖閣出漁を認めなかったが官僚としてやってはいけない行為だし、この行為を取上げないマスコミは異常」と苦言を呈した。

無意味の質問をする立憲民主党



杉尾秀哉「質問通告していないが緊急事態宣言の再々延長はあるのか？」
西村大臣「3/7迄の延長で何とか感染拡大を抑えるべく全力をあげてく」
杉「再々延長は？」
西「今は3/7までに抑えることに全力をあげる」
杉「否定しなかった！あり得るということ」

立憲の非建設的な質問。時間の無駄
#kokkai



午前11:32 · 2021年2月3日 · Twitter Web App

2021年2月3日（参議院 内閣委員会）